

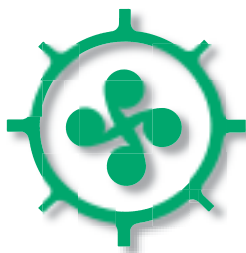
村を位置付けた 村勢 5 大小史

昭和30年5月	陸中海岸国立公園に村が指定される
39年1月	村章が決まる
52年11月	村民憲章と花・鳥・木が制定される
59年1月	普代音頭ができる
平成10年12月	新庁舎が完成

昭和三十年十二月に創刊、六年余りの休刊はあったものの三十九年四月に再刊。四十二年を経て「広報ふだい」が五百号を迎えました。この間、語りつくせないほどのさまざまな出来事がありました。その中から、五百号を記念して五にこだわり、村を位置付けた五つの重要な歴史的決定を「村勢5大小史」として紹介します。

村章

周囲の円は、平和と発展の意味で灯台の光をかたどり、中央は団結の意味で漁村の波を表すとともに「ふだい」の「ふ」を図案化したもので、昭和39年に公募し制定。



平成10年12月に新庁舎が完成。業務は12月8日から始まりました

広報ふだい500号おめでとう



熊谷さん
(中央区)

熊谷 次郎さん (31歳・自営業)

普代広報が創刊から五百号ということで歴代担

当者の取材と企画の努力が生んだ素晴らしい結果の一つの区切りに敬意を表します。
今後とも地域の世代間を結ぶ貴重な情報誌として期待しています。

広報つておもしろい

これからも村民の声大切に



太田さん
(太田名部)

太田 絹子さん (43歳・パート)

「広報ふだい」五百号、おめでとうございます。時代と

ともに村も大きく変わるつてしていますが、広報を毎月楽しみにしている一人として、これからも村のこと、村民の声を大事に伝えていただきたいと思います。